

主張

「沖縄は遠くになりにけり」ではいけない

今年で「平成」という元号が代わる。歴史の出来事や事業の継続性を考察したり、元号がまたがる年齢等を計算したりする時には西暦の方が便利である。天皇の「戦争責任」や「元号」についての賛否についてはおくとして、今の天皇に関しては、米国人作家のエリザベス・ヴァイニング女史が家庭教師となり、民主主義の精神を教え込んだことや明治以降庶民と結婚した初めての皇太子でもあった事等今までの天皇と違い皇室の在り方に対して一石を投じたことには間違いない。



天皇ご夫妻は、今年の3月27日から29日まで沖縄を訪問された。今回11回目で多分在位中最後の訪問となるようだ。皇太子時代の最初の沖縄訪問の時、過激派から火炎瓶を投げられた時の談話で「払われた多くの犠牲は、一時の行為や言葉によってあがなえるものでなく、人々が長い年月をかけてこれを記憶し、一人一人、深い内省の中にあって、この地に心を寄せ続けていくことをおいては考えられません」と述べられた。天皇の沖縄に寄せる思いの一端である。

その沖縄では、今でも様々な事が起きている。過日、沖縄の知人と話す機会があり非常に印象的な話を聞いた。米軍のヘリから校庭にへりの扉が落ちた普天間第二小学校で、第二小学校の教員が地元の新聞社に学校の状況と自分の意見をふくめた手記を投稿したところ、投稿文書を批判する抗議の電話が学校へあり、それを受け教育委員会の職員が学校へ常駐し、学校の状況や情報を一切外部へ出さないようにになっているとの事。また、名護市長選挙では、住民が選挙で選んだ首長が政府の方針に反対だと交付金を出さず、政府の方針を推進すると交付金を出すという、信じられないことがまかり通る。今の安倍政権は、沖縄の歴史から学ぶ姿勢が見て取れない。逆に一部の政治家らは沖縄を中傷する発言をして、沖縄県民の感情を逆なでしている。

歴史を見ると琉球王国は薩摩藩に征服され、明治期に入ると政府の琉球処分で沖縄県が設置され、王国の歴史に幕を閉じた。太平洋戦争では唯一の地上戦を経験し、戦後は72年まで本土復帰がかなわず、復帰後も過重な基地負担にあえいでいる。昨年8月数年ぶりに沖縄へ行き、那覇市から、幾つかの米軍基地の横を通り、南部の戦跡の1つである糸満市にある「アブチラガマ」や「沖縄県平和祈念資料館」を訪ねるとともに国立沖縄戦没者墓苑で献花をしてきた。

今の天皇が、皇太子時代の昭和56年8月7日に行われた記者会見で「日本人として忘れてならない4つの日」があると述べられた。その4つの日とは、8月6日の「広島原爆の日」8月9日の「長崎原爆の日」8月15日の「終戦記念日」そして6月23日の「沖縄戦終結の日」である。

中村草田男は、「降る雪や明治は遠くになりにけり」と詠んだが、安倍政権は、今の天皇が多分願ってやまない沖縄の歴史から学ぶことから目を背け、日本の「平和」の礎となった「昭和」と「沖縄」を遠くへ追いさろうとしているように思える。「せごドン」ブームに浮き立つことなく、隣県の者として今一度「平成」の最後の年を「平和」と「沖縄」を考える年にしたい。



いつでもどうぞ
市民相談所
森山 きよみ

〒891-1204 鹿児島市花野光ヶ丘二丁目1-13
TEL・FAX (099) 228-1404
携 帯 (090) 1084-3334
メールアドレス moriyama-k@kagoshimashigikai.com



〒892-8677

鹿児島市山下町11-1

鹿児島市議会社民・市民フォーラム控室

電話:099-216-1438

FAX:099-226-1019

市政報告

No.47



議員定数削減 50から45へ！

平成30年度鹿児島市の当初予算は、予算規模としては、過去最高の2510億円（対前年度比99億円増）の積極的な予算となりました。市民生活に直接関係する事業としては、こども医療費の助成事業を拡大し、窓口負担の軽減をします。また、消防団員の皆さんを地域ぐるみで応援し、加入促進を図るために、団員とその家族の皆さんを対象に、割引等のサービスを提供していただく「消防団応援の店」制度の導入等があります。

また、議員定数を現行の50人から45人へ削減する、鹿児島市議会議員定数条例一部改正の件が議決され次回（平成32年）の選挙より実施することが決まりました。定数の削減につ



いては、私たちの会派の選挙公約でしたので、市民の皆様との約束が果たせたと思います。**森山きよみ**は、今議会で個人質疑を行いました。以下は、会派の代表質疑並びに森山きよみの個人質疑の一部です。

大型客船の寄港増と本市の課題

問 マリンポート護岸延長と北埠頭への客船誘致並びに中心市街地回遊に対する本市の対応。

答 マリンポートへ寄港するクルーズ船の大型化により、多くの乗船客が見込まれることから、中心市街地へのアクセスの確保やバス乗降場の確保が喫緊の課題である。また、北埠頭へ国際クルーズ船が寄港することで、これまで以上に中心市街地がにぎわう事が予想されることから、各店舗での外国語対応等の受入体制の充実が課題である。これらの対応については、関係機関と連携しながら、引き続き取り組んでいきたい。



身近な市民相談は **社民・市民フォーラム市議団**へ 電話：216-1438

- 森山 きよみ（6期 花野）
市議団団長
議会運営委員会委員
総務消防委員会委員
桜島爆発対策特別委員会委員
地方創生に関する調査特別委員会委員

- 団員 秋広 正健
- 団員 ふじくぼ 博文
- 団員 大森 忍
- 团員 中原 力
- 团員 平山 夕カヒサ
- 控室 吉田 詠弓

森山きよみ 議会報告



森山きよみの個人質疑から

鹿児島市の職員構成の現状と課題並びに人材育成について

問 全職員に占める女性職員の割合はどうなっているか。

答 市長部局では、20代では、53.6%50代では、27.6%となっている。管理職の割合は、29年度は12.3%で中核市平均より、1.1%低い。

問 今、行政は、縦割りの専門家だけでは、地域社会はうまく運営できず、専門分野を持ちながらも困りごとを抱えた地域の人たちの力をつなぎ合わせていく役割が指摘されている中、国際化への対応等の視点も必要なことから「鹿児島市人事育成基本方針」については、実施されていない職員の表彰制度の可否を含めて見直すべきではないか。

答 人材育成基本方針については、策定から10年経過しており、本市を取り巻く環境の変化や市民ニーズ等を踏まえ、表彰制度の在り方についても合わせて検討したい。

学校のクーラー設置並びに更新について

問 現在ある市域内のクーラー数と対応年数13年を経過した数。

答 小・中・高等学校に設定してある室外機は、1,808基で、設置後13年を超えている室外機は、995基。



問 最も古いクーラー数と昨年夏に向けて故障していたクーラー数と使用できなかった数。

答 最も古いクーラーは、経過年数21年で120基、昨年夏の使用に向けた事前点検で、故障が判明した室外機は、210基、使用できなかったものが20基。

問 学校のクーラーについては、設置費、ランニングコスト、効果等を十分検討して、新しい型の導入は勿論、更新のスペースを速めることを含め検討するべきではないか。

答 新しい機種等については、他都市状況も含め今後調査してまいりたい。また、クーラーの更新については、各学校の状況の把握に努め、国庫補助の活用を図り、適切な整備に努めてまいりたい。

高校入試における追加試験導入について

問 鹿児島県は、実施していないが、インフルエンザ等で公立高等学校の入試を受けられなかつた受験生に別日程で追加試験制度を設けている都道府県、政令市はどのくらいあるか。

答 30年度、追検査を実施する自治体は、全国で、29あるようです。

答 別日程での受験の機会については、今後、県教育委員会と連携しながら対応してまいりたい。



第三回 かごしまマラソン 好天の中開催される

マラソン10,168人、ファンラン2,684人が参加した第三回 鹿児島マラソン大会は、気温21.1℃という中で開催され、マラソンでは、9,197人が完走しました。脱水症等の為昨年の倍の46名の方が救急搬送されたようです。森山きよみも昨年に引き続き参加しました。沿道の声援、おもてなし凄いです。一度経験するのもいいものです。来年度皆さんも参加されませんか。



団地再生事業

人口減少や高齢化の進んだ既存の住宅団地に若年層等の居住を誘導することにより、活力ある団地への再生を図る目的で、伊敷団地を含む市域内の7団地で、基礎調査並びに地域住民の方々との意見交換を実施しながらどのような施策が有効なのか具体的な施策の検討を行う事業です。伊敷団地も対象ですが、地域の皆様方のご意見が十分反映されるよう取り組みを注目していきたいと思います。